

「脱ムダ」で市政を変える！ 市政改革を前へ、前へ
小金井市議会議員／情報公開こがねい

週刊 渡辺大三 NEWS



【会派 NEWS】 2021(令和3)年1月4日 号外

【ご意見ご要望はお気軽に】 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301

T 090-3345-6929 F 042-381-5074 watanabedaizou@gmail.com

公式サイト daizou.org (Twitter、facebook には公式サイトからアクセスできます)

坂下地域初の期日前投票所、設置が実現

3月の市議選から 西之台会館(前原町・貫井南町の境)に

2021年(令和3年)。新しい年を迎えました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2021年3月14日告示21日投票の小金井市議会議員選挙から、坂下地域としては史上初の期日前投票所が設置されます。具体的には、前原町と貫井南町の境にあります「西之台会館」で、選挙期間中の火曜日と水曜日、9:00～20:00に期日前投票が可能となります。

市民団体・こがねい情報公開市民会議が提出した「期日前投票所の増設を求める陳情書」(記事末尾に全文)を市議会が全会一致で採択したことを踏まえ、選挙管理委員会が対応を協議。実現に結び付けました。

期日前投票所は、従来は市役所第二庁舎のみでしたが、平成28年の市議会で私が西岡市長に増設を要求し、2か所目の期日前投票所が東部地域に設置されました(東町のマロンホール)。

私としては、3か所目はぜひ坂下地域にと考え、市民団体(こがねい情報公開市民会議)と連携して陳情提出に取り組みました。このたび設置が実現できて大変うれしく思っています。

陳情書を提出した市民団体・こがねい情報公開市民会議の高木章成事務局長は「坂下地域には足の不自由な友人も住んでおり、坂を上がらなくても期日前投票できるよう、渡辺大三市議と相談して陳情書を提出しました。全会一致で陳情書が採択され、ようやく坂下地域としては初の期日前投票所が実現することになりました。前原町、貫井南町、中町の坂下地域にお住いの皆様、ぜひ坂下地域初の期日前投票所をご利用ください」と話しています。

また、武蔵小金井駅至近の大型商業施設などに期日前投票所が設置できれば、非常に利便性が高くなります。駅前商業施設への投票所設置を実施している先進自治体もありますので、今後、実現をめざしていきたいと思えます。

陳情書の全文は以下のとおりです。

小金井市議会議員 五十嵐京子 様

2020年9月2日

小金井市東町5-15-7

市民団体 こがねい情報公開市民会議

事務局長 高木 章成

期日前投票所の増設を求める陳情書

議員各位の市政発展に向けてのご奮闘に衷心より敬意を表します。

憲法第16条、請願法、議会基本条例、会議規則の規定に基づき、以下陳情申し上げます。充実したご審査ののち、採択賜りますようお願い申し上げます。

さて、市政の投票率の低下が著しくなっており、前回の市議会議員選挙ではついに40%にすら届かず39%にまで投票率が下落しています。

投票率の向上にはさまざまな方法を複合的に組み合わせる必要があります。当会としても、選挙公報の一人当たり掲載面積の大幅な拡大を陳情し、採択、実施していただくなど、これまでも一定の取り組みをしてきました。

今日、新型コロナウイルス感染症の影響は多方面に及んでおり、投票率のさらなる低下につながることも懸念されます。

期日前投票所の増設も投票率の向上への一つの要素となります。小金井市においては、従来は第二庁舎のみが期日前投票所でしたが、市議会議員からの提案を踏まえ、東部地域にも期日前投票所が設置されるようになりました。さらなる増設をぜひ実現していただ

きたいと思います。

よって、以下の事項を陳情いたします。

【陳情事項】

1 2021年3月執行の小金井市議会議員選挙から、第三の期日前投票所として、坂下地域にも期日前投票所を設置してください。

2 庁舎移転後の期日前投票所の在り方については、貫井北地域センターへの設置なども含めて早期に検討を始めてください。

2 この陳情書に反対する議員がいる場合、なぜ反対するのか、委員会や本会議での討論において根拠を明示して市民に説明してください。

以上

「nonowa 口、6 時台からオープンを」

全会一致で、陳情書を趣旨採択

12月21日、小金井市議会は、市民団体・こがねい情報公開市民会議が提出した「武蔵小金井駅、東小金井駅の nonowa 口を朝 6 時または 6 時半から開けることを求める陳情書」を全会一致で趣旨採択しました。私は市民団体と連携して陳情提出を進めてきました。

現状、武蔵小金井駅及び東小金井駅の nonowa 口は、朝 7 時オープンとなっており、6 時台に通勤通学している市民の皆さんは、中央改札への迂回を強いられています。間違っただけで nonowa 口に入り、閉鎖されているのに気づいて逆戻り・・・は毎朝のように見かける光景です。

できれば 6 時、少なくとも 6 時半に nonowa 口が開けば、毎朝の市民の不便が解消されます。

このたび陳情が趣旨採択されたことを踏まえ、同じ問題を抱える武蔵野市などとも連携して JR に要請していきたいと思っています。

①坂のある街として電動自転車購入補助を求める陳情書

②坂下住民のため坂道克服設備の設置を求める陳情書

賛成 6 反対 17 で不採択

12月21日、小金井市議会は、市民団体が提出した『坂のある街』小金井市民の生活の向上ため電動自転車購入時における補助を求める陳情書と「坂下住民のため坂道克服設備の設置を求める陳情書」を、いずれも賛成 6 反対 17 で不採択しました。

1 件目の陳情書、『坂のある街』小金井市民の生活の向上ため電動自転車購入時における補助を求める陳情書は、「坂の上り下りは日常のことであり、高齢者や障がいのある方にとっては、生殺与奪にかかわる事象」「坂道の克服以外にも、保育園児の送り迎えにおける労力軽減など、子育て支援における目に見えない実効もある」として電動自転車購入への補助制度の創設を求める内容でした。

2 件目の陳情書、「坂下住民のため坂道克服設備の設置を求める陳情書」は、「坂道克服用の斜行エレベーター、エスカレーター、動く歩道、小型エレベーター群ならびにケーブルカー及び索道などの導入を検討し、ハケの坂道バリアフリー化計画を策定すること」を求める内容でした。

各党派各議員の賛否は以下のとおりでした。

○ 2 件の陳情書に賛成した議員

情報公開こがねい(渡辺大三)、共産党(板倉・水上・たゆ)、市民会議(斉藤)、市民力エル(片山)。

✕ 2 件の陳情書に反対した議員

自民党信頼(遠藤・湯沢・吹春・清水)、公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)、みらいのこがねい(鈴木・村山・岸田・沖浦)、こがおも(白井・水谷)、改革連合(篠原)、ネット(田頭)、緑つながる(坂井)

※五十嵐議長(自民党信頼)は採決に加わらない。

※「みらいのこがねい」は立憲民主党などで構成。

◆渡辺大三略歴◆

1966年5月2日、岩手県水沢市(現:奥州市)生まれ。秋田県横手市、宮城県仙台市、山形県山形市を経て、9歳から小金井市在住。小金井市立本町小学校・小金井市立小金井第一中学校(桜町)、東京都立小金井北高等学校(緑町)、中央大学法学部を卒業。株式会社河北新報社(本社:仙台市)に就職し、新聞記者。衆議院議員秘書を経て、男性最年少の26歳で小金井市議選初当選(以降7期連続当選/最近4回の選挙はいずれも無所属で立候補)。

【現在】小金井市の地域政党「情報公開こがねい」共同代表。東京の地域政党「自由を守る会」幹事長。小金井市商工会参与。貫井北町商工振興会事務局長。中町親愛会相談役。中央大学学会小金井支部副支部長。小金井北高等学校同窓会幹事長。